

## 動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年12月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰							
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	副作用歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
ロメワン 千寿製薬株 製造番号：H002	犬 シーズー	雄	11歳	角膜損傷	不明	不明	なし	1日 2回 点眼	平成17年 12月22日	パピテイン (点眼) ヒアレイン (点眼) ノイチオン (点眼)	平成17年 12月22日	角膜損傷に本剤、パピテイン、ヒアレイン、ノイチオン  ノイチオンは本剤投与以前より処方。 処方1日目、診療時に病院にて点眼したところ本剤に強く反応した。その後点眼を続けるよう指導し自宅で飼い主が点眼するも強い刺激のため病院へ来院。本剤を他の抗菌剤に変更したところ問題なく点眼できた。なお、点眼順序は抗菌剤を最後に点眼。また、ドライアイの傾向があり、常に目薬を使用しているため飼い主は点眼に慣れている。	投与 中止	回復
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当獣医師：本剤は刺激が少ないと思い使用したが、今回の使用においては関連性が疑わしいと考えられた。また、併用薬との因果関係については、本剤を他の抗菌剤に変更後問題なく点眼できていることから関連なしと考える。</li> <li>・企業：本剤を他の抗菌剤に変更後は問題なく点眼できていることより、明らかに関連ありと評価する。</li> <li>・対応：再調査実施中である。</li> </ul>														

家畜衛生週報 (No. 2926) より